

伊予市環境基本計画 令和7年度進捗状況報告

1. 伊予市環境基本計画について

「伊予市環境基本計画」は、伊予市環境基本条例第9条に基づき、同条例で定める環境の保全等の理念の実現を図るため、基本的な施策を総合的かつ計画的に実施することを目的としています。本計画では、伊予市の目指す環境像の実現のため、各種の基本施策を掲げています。基本施策に基づく成果目標を数値化することにより、進捗状況を把握し、その結果を踏まえて、事業計画等の更新を検討していきます。

2. 計画の期間

令和5(2023)年度から令和14(2032)年度までの10年間としています。

また、計画期間中は、社会状況や環境変化に応じて、適宜計画の見直しを検討します。

3. 環境基本計画の具体的な展開

本計画では、伊予市の将来環境像「未来につなぐ 環境に優しい持続可能なまち 伊予」の実現に向け、4つの環境目標それぞれに施策の方向性を設定し、具体的な施策を定めています。

そして、本計画の実効性を高めるため、毎年度、計画の進行管理を行い、施策の成果指標および環境施策について点検・評価を行うこととします。

◆計画の施策体系

将来環境像	環境目標	施策の方向性
未来につなぐ 環境に優しい 持続可能なまち 伊予	環境目標 1 住み続けたいくなる快適な 生活環境が守られるまち	①安心・安全な環境づくりの推進
		②持続可能な魅力ある環境資源の活用
		③魅力ある景観の保全
	環境目標 2 自然環境が持続可能な利用で 守られるまち	①豊かな緑と安らぎの水辺環境の保全・創造
		②生物多様性の保全と持続可能な利用
	環境目標 3 環境にやさしい暮らし方が 続けられるまち	①再生可能エネルギーの創出
		②省エネルギー対策の推進
		③低炭素まちづくりの推進
		④循環型社会形成の推進
		⑤気候変動への適応策
	環境目標 4 環境教育や環境行動が 日常にあるまち	①環境学習メニューの充実
		②環境保全活動の活性化支援

4. 成果指標の達成状況

成果指標の進捗状況については、関係各課の取組および実績値を求め、計画策定時の現況値や計画目標値と比較しました。

環境目標1 住み続けたいくなる快適な生活環境が守られるまち

①安心・安全な環境づくりの推進

- 大気、水質、騒音・振動等の監視
- 河川・海の水質保全

【主な取組】

- 年1回河川・湖沼(15箇所)、海域(2箇所)の測定地点において水質検査を実施した。 【環境政策課】
- 市民からの苦情等を受け、現場を確認し、対象事業者等に指導等を行った。(7件) 【環境政策課】
- 下水道整備区域外への合併処理浄化槽補助金を実施した。 【上下水道課】

②持続可能な魅力ある環境資源の活用

- ワークーション等の推進
- 持続可能な観光の推進

【主な取組】

- 東京都港区と連携し、本市を満喫していただくプログラムを作成・周知し、港区内企業1社のワークーションの受入れを実施した。参加企業から本市の自然の豊かさ、暮らしやすさ、人の温かさを評価いただく事で、受け入れた市民及び企業が本市の魅力に再認識することができた。 【地域創生課】
- ふるさとワーキングホリデー事業において都心部の若者17名を受け入れ、伊予市に住み働くことで本市の魅力を実感してもらうことができた。また、参加者と事業者や市民が交流を通じて地域の魅力を再発見することができた。 【地域創生課】
- モバイルルータを継続して設置し、施設や場所にこだわらないテレワーク環境を推進した。 【地域創生課】

③魅力ある景観の保全

- 文化財の保全
- 豊かな景観形成と緑化の推進

【主な取組】

- 県指定史跡「市場かわらがはな古代窯跡群」の清掃を実施した。 【社会教育課】
- 市指定文化財「長泉寺石造層塔」および「中央構造線ハノラ谷露頭」の文化財説明看板を修繕した。 【社会教育課】
- 指定・未指定の無形民俗文化財の動画を作成し、YouTubeで公開することで、次世代への民俗文化継承を支援した。 【社会教育課】
- 景観審議会を開催する中で将来のまちづくりにおける景観の保全について協議した。 【都市整備課】
- 公共施設の緑化について、法令に基づき、開発行為及び一定規模以上の建築行為について、状況に応じ適宜上限及び指導を行った。 【都市整備課】

【成果指標】

成果指標	基準年度 令和3年度	今回 令和7年度	目標値 (令和14年度)	評価
汚水処理人口普及率	80.1% (令和3年度)	81.5% (令和6年度)	89.3%	○
グリーン・ツーリズムの利用者数	10,319人/年 (令和3年度)	19,432人/年 (令和6年度)	現状以上	◎
文化財に関する体験講座・講演会の開催数	2回 (令和3年度)	6回 (令和6年度)	現状以上	◎

※評価基準 ◎:目標値を達成している ○:目標値に近づいている △:目標値に近づいていない

環境目標2 自然環境が持続可能な利用で守られるまち

①豊かな緑と安らぎの水辺環境の保全・創造

- 森林や河川、海など自然環境の保全
- 里地里山の積極的な管理
- 農林水産業との共存

【主な取組】

- 森林環境譲与税を活用し、森林 17ha の保育間伐を実施した。 【農林水産課】
- 「里山林の保全」、「竹林整備」、「森林資源の利活用」等の取組を行う 1 団体に、活動費用の約 100 分の 25 を補助し、森林及び山村の活性化を図る。 【農林水産課】
- 上灘漁協、下灘漁協にて各 1 回、産業廃棄物処理費用の 10 分の 4 を補助した。 【農林水産課】
- 水産物の食生活における重要性を見直し、魚の消費拡大を目的とした料理講習会を実施した。 【農林水産課】
- 環境保全効果の高い営農を営む団体への支援を実施した。
 ・取組団体数: 3 団体 ・対象活動: 有機農業 ・取組面積: 1,693a
 ・補助金額: 2,031,600 円(補助単価: 12,000 円/10a〔県費 3/4、市費 1/4〕) 【農業振興課】

②生物多様性の保全と持続可能な利用

- 外来生物防除、野生動物との共生
- 多様な生態系の保全
- 生物多様性に関する普及啓発

【主な取組】

- 県開催の研修に参加し、新種の外来生物に関する情報収集を行った。 【環境政策課】
- 鳥獣捕獲による個体数調整を行う猟友会への支援及び各種農業被害予防対策への支援を実施した。
 - ①鳥獣被害防止総合対策事業
 - ・箱わな(大 15 基、小 10 基) ・講習会補助: 4 名 ・捕獲数: 2,445 頭
 - ・補助金額: 10,412,150 円
 - ②鳥獣害防止施設整備事業
 - ・電気柵 11 台 ・ワイヤーメッシュ 2,510 枚
 - ・補助金額: 2,258,229 円(県費 1/3 以内、市費 1/6 以内)
 - ③有害鳥獣捕獲隊等育成事業
 - ・資格維持支援事業: 98 人
 - ・補助金額: 1,145,200 円(県費 1/2 以内、市費残額)
 - ④有害鳥獣総合捕獲事業
 - ・捕獲数: 2,448 頭
 - ・補助金額: 22,051,500 円(県費 1/2 以内、市費残額) 【農業振興課】

【成果指標】

成果指標	基準年度 令和3年度	今回 令和7年度	目標値 (令和14年度)	評価
年間間伐面積	91ha/年 (令和3年度)	96ha/年 (令和6年度)	180ha/年	○
経営耕地面積	1,373ha (令和3年度)	1,373ha (令和3年度)	1,236ha を下回らないこと	◎
生物多様性関連の イベントの開催回数	1回 (令和3年度)	0回 (令和6年度)	3回	△
伊予市産食材の学校 給食への使用率	25.9% (令和3年度)	14.5% (令和6年度)	30%	△
愛ロード、愛リバー、 愛ビーチ活動の実施数	愛ロード: 7回 愛リバー: 10回 愛ビーチ: 13回 (令和3年度)	愛ロード: 10回 愛リバー: 14回 愛ビーチ: 9回 (令和6年度)	現状以上	○

※評価基準 ◎:目標値を達成している ○:目標値に近づいている △:目標値に近づいていない

環境目標3 環境にやさしい暮らし方が続けられるまち

①再生可能エネルギーの創出

- 再生可能エネルギーの導入促進
- 自立・分散型エネルギー社会の形成推進

【主な取組】

- 公共施設(聖浄苑)に太陽光発電設備を導入した。【環境政策課】
- 市民向けの蓄電池・V2Hの補助金を実施した。(実績 55 件)【環境政策課】

②省エネルギー対策の推進

- 建物・住宅におけるZEB・ZEH等の普及促進
- 産業部門における省エネルギー行動の推進

【主な取組】

- 個人住宅向けの ZEH 補助金を新設し、令和 6 年度より実施した。(実績 10 件)【環境政策課】

③低炭素まちづくりの推進

- 運輸部門のカーボンニュートラル化推進
- 効率的なまちづくりの推進

【主な取組】

- 市民・事業者向けの電気自動車補助金を実施した。(実績 18 件)【環境政策課】
- 伊予市双海地区(JR 上灘駅～日尾野)にて自動運転バスの実証事業を実施した。(乗車人数:延べ 1,795 人)【企画政策課】
- 事業者向けの EV 自動車充電設備補助金の新設を検討した。【環境政策課】
- 令和 7 年度に向けてシェアカー(公用車)の EV 車両導入をすすめた。【財政課】
- 公用車の買い換えの際には、電気自動車の導入を検討した。【全課】

④循環型社会形成の推進

- 循環型社会の構築
- 廃棄物の適正処理の推進

【主な取組】

- 食品ロス削減月間である 10 月に広報誌にて食品ロスに関する記事の掲載、市役所ロビーにてパネル展を行い、啓発や周知を行った。【環境政策課】
- 松山ブロックごみ処理広域化基本計画に基づき、ごみ処理広域化の検討を進めている。【環境政策課】
- 粗大ごみの収集依頼を電子申請にて受付中。【環境政策課】
- ごみ分別アプリ「さんあ～る」配信中。
- 不法投棄パトロールを実施した。(89 回)【環境政策課】
- 「事業系廃棄物適正処理の手引き」をホームページに公開中。【環境政策課】
- プラスチック系廃棄物の回収処理事業を行う JA えひめ中央に対する支援を実施した。
・回収処理実績:424 件(55.13t)
・補助金額:952,000 円(補助対象事業費 2,536,870 円の 4/10 以内)【農業振興課】
- 小学生を対象に海洋プラスチックごみに関する環境教室を開催した。【環境政策課】

⑤気候変動への適応策

➤ 気候変動への適応策の検討

【主な取組】

- 市内における特定外来生物等の現場確認を実施した。 【環境政策課】
- 土砂災害警戒区域、重要水防箇所について、関係機関とパトロールを実施した。 【土木管理課】
- 山間部の急傾斜地において地すべり対策や治山事業を実施した。 【農林水産課】
- 健康増進に関する包括連携協定企業と協働し、①熱中症対策ポスターを作成し各施設に掲示、②熱中症対策アンバサダー講座を開講し、部課長、保育所長、保健師等、計 58 名が修了、③熱中症に関する健康会議を開催した。 【健康増進課】
- 広報紙 7 月号に、熱中症から身を守るための特集記事を掲載した。 【健康増進課】

【成果指標】

成果指標	基準年度 令和3年度	今回 令和7年度	目標値 (令和14年度)	評価
市域の温室効果ガス排出量	196.4千t-CO ₂ (令和元年度)	193.6千t-CO ₂ (令和4年度)	101.3千t-CO ₂	○
市域のエネルギー消費量	2,744TJ (令和元年度)	2,804TJ (令和4年度)	2,031TJ	△
公用車の次世代自動車導入台数割合	0% (令和3年度)	2% (令和6年度)	20%	○
市民一人1日当たりのごみ排出量	831g/人日 (令和2年度)	668g/人日 (令和6年度)	750g/人日	◎
ごみのリサイクル率	13.8% (令和2年度)	19.3% (令和6年度)	25%	○
デマンドタクシー利用者数	4,384人/年 (令和3年度)	3,821人/年 (令和6年度)	6,500人/年	△
コミュニティバス利用者数	10,070人/年 (令和3年度)	14,418人/年 (令和6年度)	10,000人/年	◎

※評価基準 ◎:目標値を達成している ○:目標値に近づいている △:目標値に近づいていない

環境目標4 環境教育や環境行動が日常にあるまち

①環境学習メニューの充実

- 学校、地域等における環境学習の推進
- 環境情報の発信と共有

【主な取組】

- 学校・公民館活動での環境教室(計2回)、夏休み環境教室(計2回)、事業所主催のボランティア清掃事業への協力を実施した。環境活動などについて、必要な情報が対象者により届きやすいように工夫するなど、意識を高め、参加を促していく。
- 市HP、広報、SNS等を活用し環境情報の発信を行った。必要な情報が対象者により届きやすいように工夫した。

【環境政策課】

【環境政策課】

②環境保全活動の活性化支援

- 人材育成の推進
- 活動支援制度の充実

【主な取組】

- 愛媛県が実施する環境教育・学習情報をHPに掲載するとともに、問い合わせのあった市民へ案内などを行った。

【環境政策課】

【成果指標】

成果指標	基準年度 令和3年度	今回 令和7年度	目標値 (令和14年度)	評価
環境教室の開催数	2回 (令和3年度)	4回 (令和6年度)	5回	○
環境関連団体数	52団体 (令和3年度)	60団体 (令和6年度)	現状以上	◎
環境関連団体参加 市民数	509名 (令和3年度)	3,425名 (令和6年度)	現状以上	◎

※評価基準 ◎:目標値を達成している ○:目標値に近づいている △:目標値に近づいていない